



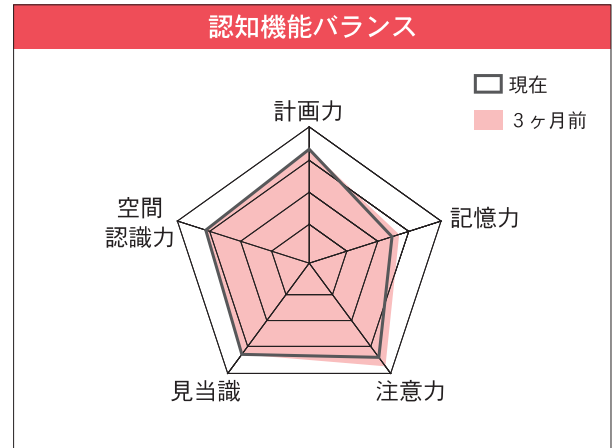
## 一人ひとりの認知機能に応じたケアの提供

認知症に対応するPremium Careの特徴は、宿泊サービスと一人ひとりの認知機能に応じたケアの提供である。Premium Careでは、認知機能を数値で見える化する脳活 balanser CogEvo<sup>®</sup>（株式会社トータルプレインケア）を導入し、その方の認知機能や特性に応じたサービスを提供している。



脳活 balanser CogEvo<sup>®</sup>をしている利用者

脳活 balanser CogEvo<sup>®</sup>の結果



レーダーチャートになっており、変化が分かりやすい

脳活 balanser CogEvo<sup>®</sup>によって認知症の特性を評価し、一人ひとりに応じたケアを提供する。

- ・ 計画力の向上…園芸療法 など
- ・ 記憶力の向上…学習療法 など
- ・ 注意力の向上…料理療法 など
- ・ 空間認識力の向上…芸術療法 など
- ・ 見当識の向上…見当識訓練 など

脳活 balanser CogEvo<sup>®</sup>はゲーム感覚で利用日ごとにその都度行っており、そのスコアの変化などを必要に応じて医師への情報提供などにつなげ、1～3ヶ月に一度の効果測定の指標としている。認知機能改善ケア以外では、運動療法や自立支援ケア、SPAのコンセプトを導入した入浴・アロマを取り入れたハンド&フットセラピーなどを

行っている。「精神的に落ち着いた状態で過ごしていただけるようSPAをコンセプトに入浴では最新の水素・マイクロバブルバスを導入し、入浴後には認知症に効果があると言われるアロマを取り入れたハンド&フットセラピーを提供することでリラックス効果やヒーリング効果を高めている」と大場氏。

デイへの宿泊サービス導入については、「提供するサービスにお泊まりが必要不可欠ということを考えるべき。軽度者を対象とするデイではお泊まりサービスは適さないだろう。お泊まりデイはあくまでも、中重度の方や認知症の方で生活する上で必要な緊急性のある一時的なお泊まりを支援するという立ち位置でこそ、そこに絶対的なニーズがある。介護保険サービスでは補えない部分を担う、多様化する保険外サービスの一つとして、今後さらに必要とされるサービスであると考えている」と大場氏は話す。